



～ ゼロカーボンって何？ ～

Profile



・環境学博士
・大崎町地方創生環境政策補佐監

おおいわね ひさし
大岩根 尚
(1982年 宮崎生まれ)

2010年に東京大学にて環境学の博士号を取得。卒業後は第53次日本南極地域観測隊に参加し気候変動の研究に従事。2013年に鹿児島に移住し、鹿児島県三島村役場の職員として地球科学を活用した地域活性化のプロジェクトを主導。活動の中で同村の硫黄島に惚れ込み、硫黄島に移住し起業。硫黄島での自然体験ガイド、気候変動やSDGs関連の研修、授業、講演などを通じて「人と地球をむすびなおす」活動を展開中。

大崎町のみなさま、初めまして。

大崎町地方創生環境政策補佐監としてお手伝いさせていただくことになりました、大岩根です。

「ゼロカーボンって何？わたくしたちは何をしたら良いの？」そんな問いをお持ちの方も多いと思います。

私たちは今、車で便利に移動できたり、快適にいつでもエアコンが使えたり、スーパーやコンビニに行けばいつでもたくさんのお食べ物や生活

用品が並んでいる中に暮らしています。しかしそんな生活の中には、誰もいない部屋の電気がつけっぱなしになっていたり、たくさんのお食べ物を捨ててしまったり、断熱効果の低い部屋で冷暖房をガンガン稼働させていたり、本来には必要でない部分も多くあります。この無駄を省いてゆくことがゼロカーボンの取り組みです。

また、町内産の農水産品がもっと町内で食べられたり、エネルギーを地域で作ることで価格を安定させたり、夏場でも気持ちのよい木陰がもっと町に増えたりと、暮らしの面でも町がよりよくなることも、ゼロカーボンの取り組みです。

ゼロカーボンとは、ガソリンなどから出る二酸化炭素の量を、森や海が吸収してくれる量より少なくすることです。難しく聞こえますが、無駄を省いてお財布や健康により良い生活をする事です。生き物を増やして豊かな自然環境を取り戻すことです。企業の活動が、より安定して成長するために必要なことです。

今を生きるわたしたちに直接のメリットがあることも多いのですが、今それらに取り組まなければ、わたしたちの子どもや孫が大人になる頃、豪雨災害や異常に暑い日何倍にも増えてしまうことがわかっていきます。



地球温暖化防止に取り組んでいます

5月7日(土)、役場本庁舎と野方支所において、「グリーンカーテンで夏を乗り越えよう！」と衛生自治会がゴーヤ苗の無料配布を、新型コロナウイルス感染防止のためドライブスルー方式で行いました。

この取り組みは、つる性植物であるゴーヤを建物の外に生育させることにより、建物の温度上昇を抑制し、夏の暑さを乗り越えようとするものです。

